

南小学校区の学童保育室建設事業、 一本松駅のバリアフリー化への補助など

一般会計予算 215億4000万円
(前年度 206億4000万円)

平成31年度の鶴ヶ島市一般会計予算と特別会計予算(5議案)は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。
委員会での審査結果は、いずれも「可決すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、可決されました。

オリンピック・パラリンピック推進事業

Q 具体的な事業内容は。

A 市民生活部長 ミヤンマのホストタウンとして、選手団の事前キャンプの受け入れと選手団と市民との様々な交流を計画している。また、中学生を対象とした、日本人オリンピックアン・パラリオンピアン候補者を招いての交流会なども検討していきたい。

Q 市費を投入して事業を行う価値はあるのか。

A 市民生活部長 昨年度はテレビや新聞等で50回以上取り上げられた。最終的には、この事業を通じて子どもたちのためにソフトレガシーを築いていきたい。

シニアプロモーション推進事業

Q ウェルカムガイドブックの作成などの現状の取組が人口減少対策に寄与するのか。

A 秘書広報課長 人口増や定住促進の直接的な効果を得るのは難しいが、それらがきっかけとなって定住につながることも十分にあると考え、事業を行っている。

公共施設個別利用実施計画策定事業

Q スケジュールは。

A 資産管理課長 3年間で計画を策定していく。1年目に業者を選定し、施設の稼働状況の調査・分析、施設の重要度の分析等を行う。2年目に当該分析を基に再配置の計画を検討し、3年目に市民への説明やパブリックコメントの実施を考えている。



庁舎内のエレベーター

庁舎エレベーター更新事業

Q 市庁舎にある4基中の2基だけの更新でよいのか。築30年が経過する庁舎であり、残りの2基が壊れる可能性も十分にあるのではないかと。

A 資産管理課長 2基の工事で9400万円ほどを想定して

いる。4基全てでは1億8000万円程度となり、経費の問題がある。残りの2基も修繕や工事しながら、使用できる期間はそのまま使用したい。2基になったとしても、現状の使用頻度から対応が可能であると見込んでいる。



子ども子育て支援事業計画策定事業

Q 第2期となる次期子ども・子育て支援事業計画の特色は。

A 子ども支援課長 5年連続となつていている保育所の待機児童ゼロを継続するための提供体制の確保策等、子ども家庭総合支援拠点の設置及び子どもの貧困対策の推進を盛り込みたい。

学童保育室建設事業(南小学校区)

Q 建設までのスケジュールは。

A 子ども支援課長 本年3月に設計を終え、4月の指名委員会、その後の入札を経て、5月に埼玉県と事前協議を行う。6月から建築工事に入り、31年度末には供用を開始する予定である。

Q 定員が超過する他の学童保育室の増設等は。

A 子ども支援課長 30年度は「はちまんクラブ」の定員超過

を解消した。32年度に「つくしんぼクラブ」、33年度以降には「ありんこクラブ」の対応を予定している。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団負担金

坂戸、鶴ヶ島下水道組合負担金

Q 公共料金を下げるためにも、一部事務組合を一緒にして効率化を図るべきではないか。一部事務組合と市の担当課での政策的な話し合いはないのか。

A 生活環境課長 負担金の予算措置は、水道企業団からの依頼文書に基づいて行っている。政策的な打合せや協議はしていない。

都市計画道路整備事業

Q 都市計画道路の川越鶴ヶ島線と鶴ヶ島南通り線の整備スケジュールと供用開始時期は。

A 道路建設課長 用地買収が完了し、31年度は工事を開始する。同年度中には、圏央鶴ヶ島ICの前後を除いて工事を完了する予定である。新設道路との整合や警察等との協議があるため、暫定供用の可能性もあるが、早期に供用開始できるよう努力したい。

道路交通環境安全対策事業

Q 道路照明灯のLED化に向けた計画の概要は。